



まごころ農園の野菜が勢揃い。トマト、茄子、きゅうり・・・、夏野菜は色がとっても鮮やか。
保育園児たちも一緒にみんなでじゃがいもを掘ったり、まごころ農園はおいしい！楽しい！がいっぱいです。

行事予定 7・8・9月

7 July

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
					マ	2
3	🌻	5	6	7	8	9
10	11	🎵	13	14	マ	🍷 16
17	🌸	19	20	21	22	23
24	🌾	🎵	27	28	29	30
31						

8 August

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
	1	2	3	4	マ	6
7	🌻	🎵	10	11	12	13
14	15	🎵	16	17	18	マ
21	22	🎵	24	25	26	27
28	29	30	31			

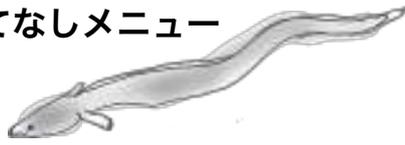
9 September

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
				1	マ	3
4	🌻	6	7	8	9	10
11	12	🎵	14	15	マ	🍷 17
18	19	🌸	21	22	23	24
25	🌾	🎵	28	29	30	

スペシャルイベント ● お誕生日ケーキの日 🍷 ほっこり民話の会 🌸 あさひ民謡愛好会 🌸 折り紙を楽しむ会
農園ボランティア受け入れ日 🌾 クラブ活動：麻雀 🎵 音楽療法 🎵 花ようび 🌻

イベントレポート

6/21(火) 夏至 おもてなしメニュー

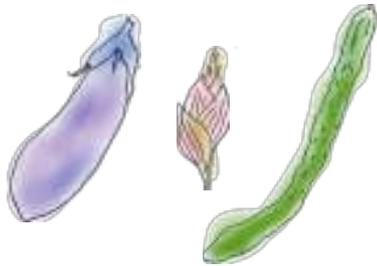


管理栄養士 篠崎 千穂

夏本番をむかえるにあたりうなぎが食べたいとのご要望を受け、今回のメニューである「ひつまぶし」に決定しました。

茄子はそぼろあんかけにし、胡瓜と茗荷は酢の物にしてさっぱりと、すまし汁、ゴールデンキウイを添えて夏らしく仕上げました。

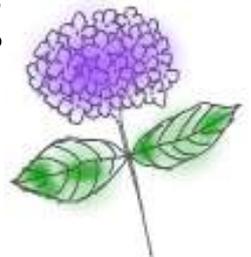
おやつには手作りの抹茶水まんじゅうを提供しました。皆様にご好評を頂くことができ、これからの暑い季節もうなぎパワーで乗り切りたいと思います。



6/10(金) あじさい散策

in千代田調整池 あじさい広場

万葉集の中で「安治佐為」 「味狭藍」と詠まれているように、古くから日本人に親しまれてきたあじさい。その名は「あじさい」(集真藍)、つまり青い花が集まっているという意味からきたといわれています。



七夕祭り

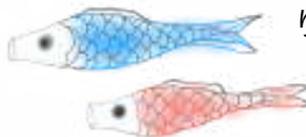
中庭前に、みんなの願い事が書かれた短冊がたくさん吊るされました。

右は花ようびクラブで作った竹筒にアレンジした七夕飾り。短冊の代わりに白檀の文香(ふみこう)が飾られています。



4/25(月) 千代田鯉のぼり祭り in千代田調整池

端午の節句。鯉のぼりの風習は江戸時代からのこと。滝を登って龍になるという鯉の滝登りの逸話にちなんで、男の子の立身出世を願う武士の家々で鯉のぼりをあげたそう。



家族説明会 実施しました

相談部門主任 今関 勇太

平成28年5月29日(日)まごころ館四街道に併設する、まちの保育園成山にて、定例の家族説明会を実施しました。計26名のご家族様にお集まり頂きました。ご協力ありがとうございました。内容に関しては、施設内に議事録として掲示してありますので、ご来館の際は是非ご覧ください。今後も半年に一回定例で開催していく予定ですので、是非ご参加ください。次回開催は、平成28年11月27日(日)となっております。



小暑 梅雨が明けて本格的に夏になる頃のこと。この小暑から立秋になるまでが、暑中見舞いの時期です。(新暦ではおよそ七月七日～)
大暑 もっとも暑い真夏の頃のこと。土用のうなぎ、風鈴、花火と、風物詩が目白押し。(新暦ではおよそ七月二十二日～)

pick up smile



お花を植えました



ドリップコーヒー
いつもと違って
おいしいね♪



スナップえんどう採ったよ



いつもの日常
午前の体操の時間



機能訓練指導員 たかはしさんぽっ

こんにちは、夏号では「車いす」についてお話ししようと思います

当施設でも8割の入居者様が車いすを利用されていますが、車いすに長時間座ることを経験されたことがある方はいますか？

1時間でも2時間でも座り続けていることは苦痛を生じます。普通の椅子でも座り直ししたり立ち上がったたりしたくなりますよね。

あくまでも車いすは移動手段の道具であり、椅子としての機能は満たされないものなので、入居者様の中には座布団や背当てを工夫されている方も多いです。施設では、体操をしたり立ち上がる訓練を行うことを取組んでいます。日中横になる機会を設けるのも苦痛を和らげる工夫の一つでしょう。それぞれのお体に合わせて工夫を家族の中で話し合うのもいいかもしれませんね。以上、たかはしさんぽっでした。

看護師 niceなおはなし

こんにちは。4月から看護師として入職した吉野です。管理栄養士の加藤久美さんとは、小学校1年生に同じクラス、同じランドセルを使用しているという共通点から、くされ

4月入職
吉野さん
自己紹介

縁が始まりました。かれこれ、19年目のお付き合いです。私は生まれた時から八街に住んでおり、隣の祖母宅で叔父が農家をしている畑に囲まれたところで育ちました。のどかな環境で育ったせいか、性格ものんき者です。

趣味はフィギュアスケート鑑賞です。中でも、一番応援している選手は、浅田真央選手です。浅田真央ちゃんが好きすぎて、嫁に行き遅れています。2018年の平昌オリンピックまで応援し続けたいと思っています。

あっという間に3か月が過ぎ、季節はもう夏です。今年は猛暑になると言われていますが、熱中症や夏風邪にならないように、しっかり水分を摂って頂いて、皆様と元気に素敵な夏を過ごしていきたいと思っています。

加藤さんには無理せずおいしく水分を摂ってもらえるようなメニュー作りを、私は皆様の体調管理を、仲良しコンビでタッグを組んで皆様の健康を体の中から外から支えていけるように協力して頑張りますので、よろしくお願い致します。



左:加藤 右:吉野

立秋 初めて秋の気配がほの見える頃のこと。暑い盛りですが、これ以降は夏の名残の残暑といえます。
(新暦ではおよそ八月七日～)

処暑 暑さが少しやわらぐ頃のこと。朝の風や夜の虫の声に、秋の気配が漂い出します。
(新暦ではおよそ八月二十三日～)

施設長

ちょこっと news



佐々木 千香

梅雨があけ夏がやってきます。今回は夏の風物詩である花火についてお知らせしたいと思います。花火ってどうしてあんなにきれいな色をしているか不思議に思いませんか？また、どのくらいの大きさの玉がどのくらいの花火になるのか気になりませんか？

花火の色は、「元素によって変わる炎の魅力」炎色反応によって紅色や青や緑の色が作られます。火薬に金属の粉を混ぜると炎の色が変わります。たとえば、紅色＝炭酸ストロンチウム 緑＝硝酸バリウム 黄色＝炭酸カルシウム・ナトリウム 青色＝酸化銅 銀色（白）＝アルミニウム 金色はチタン合金といった具合です。製精水に塩やホウ酸を混ぜエタノールを少ししたらしといった簡単な実験のできるのをご興味のある方はネットで調べて試してみてください。知らないほうが、ロマンチックでしたか？

次に花火の大きさです。3号玉（9センチ）は打ち上げの高さが120メートルあり開いたときの直径が100メートルあります。一般的によく上がる大きさです。10号玉がいわゆる尺玉で、打ち上げの高さ300メートル・直径280メートルの花火です。世界最大の大きさは4尺玉で420キロの大きさに地上800メートルに打ち上げられ直径800メートルに開きます。日本では2箇所（さいたまこうのす花火大会・新潟貝川まつり）で4尺玉が上がります。花火師の技術を競う大会は土浦で開催され日本では一番とされています。気になるお値段は・・・やめておきますね。

ちなみに千葉のランキング1位は木更津港祭りの花火大会で1万発の花火が上がるそうです。夏の風物詩今年はずっと違う角度から見て楽しんでください♪。



おいしい畑

旬菜一皿



気温が上がるとともに、日に日に夏野菜が成長し実をつけ始めました。お天気に左右される農業ですが、梅雨のジメジメした気候は野菜たちも苦手。風通しを良くしてあげるのが重要です。

自然の恵みを受けて大地に根を張った野菜を、手間をかけて実らせ、さらに愛情をたっぷりかけて調理し、その野菜をみんなで分け合う。みんなの口に入るのはわずかでも、とても幸せなことですね。

旬菜一皿では季節の野菜をもっとみんなに積極的に食べてもらえるよう日々奮闘中です。今後の野菜の出来にもご注目ください。



夏祭りのご案内 8月28日(日)開催

- 第1部 10:00～
各ユニット職員による模擬店
綿菓子、金魚すくい、キーホルダー作りなど
- 第2部 13:00～
和太鼓、フラダンスなどのLIVE

ご家族の方もぜひ一緒にご参加ください。お待ちしております。



募集中です

介護スタッフさん募集中

私たちと一緒に施設を盛り上げてくれる方大歓迎です。未経験でも大丈夫。勤務時間応相談。

ボランティアの方々を随時募集しています

[ボランティア内容]

シーツ交換補助
クラブ活動やイベント教室のお手伝いをしてくださる方
お話し相手 農園作業 など

お気軽にご連絡ください

電話 043-312-5556

担当 太刀掛 維子（たちかけしげこ）

白露 大気が冷えてきて露を結ぶ頃のこと。ようやく残暑が引いていき、本格的に秋が訪れてきます。

秋分 春分と同じく昼夜の長さが同じになる日のこと。これからしだいに日が短くなり秋が深まっています。
(新暦ではおおよそ九月七日～)
(新暦ではおおよそ九月二十二日～)